

社会福祉法人 聖隷福祉事業団  
介護福祉士実務者養成施設

# 学 則



社会福祉法人 聖隷福祉事業団

# 社会福祉法人 聖隷福祉事業団介護福祉士実務者養成施設 学則

## 第 1 章 総訓

### (目的)

第 1 条 本研修は、社会福祉法人聖隷福祉事業団が聖隷研修センターにおいて、社会福祉士及び介護福祉士法にもとづき介護福祉士を目指す実務経験者等に対し、介護福祉士試験の受験時に受講が義務付けられた研修を実施することにより、必要な知識・技能を習得させることを目的とする。

### (名称)

第 2 条 本研修は「社会福祉法人 聖隷福祉事業団介護福祉士実務者研修」と称する

### (位置)

第 3 条 本研修は、聖隷福祉事業団研修センター（浜松市中区和合町 555）にて実施する。

## 第 2 章 課程の組織、収容定員及び修業年限等

### (課程の組織、収容定員及び修業年限等)

第 4 条 課程の組織、収容定員及び修業年限は次の通りとする。

昼夜の別	通信課程
修業年限	6 月以上 （別表 2 に掲げる者は 1 月以上）
収容定員	1 5 0 名
学級数	6 学級

2 本研修の在籍期間は 2 年をこえることはできない。

### 第3章 学年、学期、授業日及び休業日等

(学年及び学期)

第5条 学年、学期は特に定めない。

(授業日及び休業日)

第6条 聖隷研修センターの休業日は次の通りとする。

- ① 日曜日
  - ② 国民の祝日に関する法律に定める日
  - ③ 年末年始（12月29日より1月3日）
- 
- 2 介護過程Ⅲ（スクーリング）の授業については別に定める
  - 3 非常変災その他急迫の事情がある場合は授業日を変更する事がある。

### 第4章 入所、退所、及び休所等

(入所時期)

第7条 入所時期は開講日初日とする。

(入所資格)

第8条 本研修に入所できる者は次の者とする。

- ① 現に3年以上の実務経験を有し、介護福祉士試験のために入所を希望する者。
- ② 将来、介護福祉士試験を受験するために入所を希望する者。
- ③ 介護福祉士は受験しないが、介護に関心があるために入所を希望する者。

(入所許可、入所手続き)

第9条 入所手続きは次の通りとする。

- ① 入所を希望する者は所定の入所申込書を指定の期日までに施設の長に提出しなければならない。
- ② 入所は申し込み順とするが、必要に応じて施設の長が判断を行う。
- ③ 入所の許可を受けた者は、所定の誓約書と授業料を指定の期日までに施設の長に提出、納付しなければならない。

- ④ 前号に定める手続きが指定の期日までに行われなときは、施設の長は入所の許可を取り消すことがある。
- 2 科目単位での履修を希望する者が、本研修センターへ編入所・転入所を願い出たときは、定員等に欠員がある場合は、入所を許可する。

(退所)

第 10 条 研修生が退所しようとする時、所定の退所願書を提出し、その許可を受けなければならない。

(休所、復所)

第 11 条 学生が休所しようとする時は、所定の休所願書を本研修センターに提出しその許可を受けなければならない。休所は 1 ケ年以内とする。

- 2 休所中に学生が復所をする場合には、所定の復所願書を本研修センターに提出しその許可を受けなければならない。
- 3 学生が心身の故障の為、長期の休養を要すると認められる時は本研修センターは休所を命ずることがある。
- 4 学生が休所期間満了後もなお復所できない時は、本研修センターは退所を命ずることがある。

## 第 5 章 履修方法及び修了

(教育課程及び授業時間数、修了の認定)

第 12 条 修了に必要な授業科目及び授業時間は、「別表 1」の通りとする。

- 2 一定の内容・質、時間数が担保されているものを修了したもので、科目単位での履修認定を希望する者の履修必要科目は「別表 2」の通りとする。  
これ以外の研修については、必要に応じて施設の長が判断を行う。
- 3 修了に必要な科目を履修した者に対して修了認定書を授与する。
- 4 他研修等の修了認定を希望する者については、認定研修実施者から交付を受けた研修修了証を確認し、認定が可能と判断する場合に認定するものとする。

(学習評価)

第 13 条 学生が教育指導計画に従って授業科目を履修した場合にはその成績を評価する。

- 2 成績の評価は単に試験の成績だけで行うものではなく、試験の成績に平素の学習状況、出席状況、レポートの提出状況等を総合的に考慮して行う。また、各科目の履修時間数が満たない者については理由の如何に問わず科目の履修を認めない。
- 3 面接授業（スクーリング）は決められた日程にすべて出席することとする。
- 4 成績評価の結果は A・B・C・D をもって表し、D を不合格とする。
- 5 成績の評価は 100 点を最高点として行い、得点との関係は次の通りとする。  
80 点以上 A    70 点以上 B    60 点以上 C    60 点未満 D

## 第 6 章 教職員組織

(教職員組織)

第 14 条 本研修には次の組織をおく。

研修センターの長

専任教員（介護）

専任教員（医療ケア）

その他必要な職員をおく。

- 2 研修センターの長は校務を掌り、所属職員を監督する。

## 第 7 章 授業料その他費用

(授業料等)

第 15 条 授業料は、「別表 3」の通りとする。

(納付)

第 16 条 授業料は出席の有無に拘らず所定の期日までに納入しなければならない。

- 2 学生が正当な理由がないのに授業料を 1 ケ月以上滞納し、その後に於いても納入の見込みがないと認められるとき本研修センターの長は退所を命ずることがある。
- 3 既納の納付金は原則として返還しない。

## 第8章 賞罰

(懲戒)

第17条 学生がこの学則、その他本研修センターが定める諸規則を遵守せず、又は学生の本分に反する行為があったときは、本研修センターの長は懲戒処分として訓告、停所、退所を命ずることがある。

2 前項の退所は次の各号の一に該当する場合に限る。

- ① 性行が不良で改善の見込みがないと認められる者
- ② 学力劣等で成業の見込みがないと認められる者
- ③ 正当な理由がなく出席が常でない者
- ④ 研修センターの秩序を乱しその他学生として本分に反した者

附則 1 この学則は平成25年6月1日から施行する。

改訂 平成26年5月1日

改訂 平成26年8月4日

改訂 平成28年5月1日

改訂 平成28年12月1日

改訂 令和3年1月4日

改訂 令和3年1月7日